

第 3 回

三木市

財政健全化アドバイザー会議

会議録

令和 8 年 8 月

三木市 総務部 経営管理課

**第 3 回（令和 8 年 8 月 6 日）
三木市財政健全化アドバイザー会議 会議録**

- ◇ 第 3 回三木市財政健全化アドバイザー会議日程及び会議の概要
令和 8 年 8 月 6 日（木）午後 2 時 0 0 分開会

- 1 開会
- 2 報告事項
第 1 期財政健全化計画 令和 7 年度実績報告
- 3 議事
 - (1) 収支見通しについて
 - (2) 第 2 回財政健全化アドバイザー会議で受けた助言と対応について
 - (3) （案）第 2 期三木市財政健全化計画について
 - (4) （案）第 2 期三木市財政健全化計画（実施プログラム等）について
- 4 今後の予定について
- 5 第 4 回財政健全化アドバイザー会議の進め方について
- 6 閉会

- ◇ 出席委員

◎ 定野 司 ○ 瓦田 沙季 石本 成史
◎委員長 ○職務代理

◇ 議 事

< 1 開会 >

< 2 報告事項 >

資料による説明

< 3 議事 >

(1) 収支見通しについて

< 2 報告事項 > と < 3 議事 > (1) を一括して資料による説明

○ 収支見通しについて

① 近年の交付税の追加交付等による歳入の増加や、物価高騰や人件費の増
加等による歳出の増加により、毎年作成する収支見通しと決算に乖離が生
じている。このことから、今後の歳入歳出の見込みも不透明な状況である
ため、今後10年間の長期の収支見通しを作成することは困難であり、5
年間の収支見通しを作成し公表する。

② 第2期財政健全化計画に掲載する収支見通しは1パターンのみとする。
引き続き、収支見通しについては、次のとおり複数パターンを検討する必
要がある。

○物価上昇率をより厳しく見込んだパターン

○国税収の上振れに伴う普通交付税の増加を見込んだパターン（ただし、
地方自治体の財政は民間企業とは異なり、市税が増加すると普通交付税
が減少するという構造ではある）

など

(2) 第2回財政健全化アドバイザー会議で受けた助言と対応について

(3) (案) 第2期三木市財政健全化計画について

(4) (案) 第2期三木市財政健全化計画（実施プログラム等）について

(2) ～ (4) を一括して資料による説明

○ 財政健全化計画の目標と指標について

① 市民にとってわかりやすい指標として、市民1人あたりの基金残高や市
債残高を目標設定とすることがどうかについては、引き続き検討。

② 単純に基金残高が減少及び市債残高が増加することだけでなく、
それによって新たに整備される事業についても説明することを提案。

- ③ 基金残高が少ない現状というのは、過去の財政運営による影響であるということを、第1期財政健全化計画と同様に引き続き説明することを提案。

○ 実施プログラム等について

- ① 現在実施プログラムに掲載されている事業以外にも今後追加していくことが分かるように表現すること（重点分野や社会経済状況等の変化による見直しなど）。
- ② 人口減少社会では、職員数も同時に減少していくことが見込まれるので、事業見直しや事務の効率化、更なる収入の確保を継続して行う必要がある。
- ③ 第1期財政健全化計画では内部だけで点検し評価していたが、第2期財政健全化計画では、外部委員を入れた会議で実績報告を行うことを提案。

< 4 今後の予定について >

これまでの議論過程が分かるように公開できる範囲で議事録は公開予定。

< 5 第4回財政健全化アドバイザー会議の進め方について >

第4回アドバイザー会議については公開することで決定。またその際には提言書の受領だけでなく、これまでの議論の過程についても説明する。

< 6 閉会 >